

農林水産商工常任委員会資料

(令和4年12月2日)

項 目

- 1 令和4年度第2・四半期各事業実績について
..... 2ページ
- 2 令和4年度上半期の経営状況及び決算見込みについて
..... 3ページ

企 業 局

令和4年度第2・四半期各事業実績について

令和4年12月2日
企業局経営企画課

1 電気事業

(1) 販売電力量

- ・第2四半期の全体での実績は、目標に対して73.1%、対前年比で46.4%となった。
- ・水力発電は、日野川の湯水による取水量の減、新幡郷発電所が圧油配管破損のため20日間停止したこと等により、目標に対して69.3%と下回った。また、小鹿第一・第二及び日野川第一発電所のリニューアル工事に伴う稼働停止等により、対前年比でも41.1%と下回った。
- ・風力発電は、1号機の故障等により、目標に対して56.6%と下回り、対前年比では68.2%となった。
- ・太陽光発電は、概ね日照に恵まれたことから、目標に対して107.7%と上回り、対前年比でも101.9%と上回った。

(単位:MWh)

区分		令和4年度			前年度 実績(C)	対前年比 B/C
		目標(A)	実績(B)	B/A		
水力	第2四半期	17,181	11,910	69.3%	28,999	41.1%
	累計	35,319	25,039	70.9%	50,915	49.2%
風力	第2四半期	1,017	576	56.6%	845	68.2%
	累計	2,313	1,429	61.8%	2,267	63.0%
太陽光	第2四半期	2,348	2,529	107.7%	2,483	101.9%
	累計	4,875	5,676	116.4%	5,388	105.3%
合計	第2四半期	20,546	15,015	73.1%	32,326	46.4%
	累計	42,507	32,144	75.6%	58,570	54.9%

(2) 販売電力収入

- ・第2四半期の全体での実績は、太陽光発電が好調だった一方、水力発電と風力発電が目標発電量を下回ったことから、目標に対して79.5%、対前年比でも59.2%と下回った。
- ・発電区分別では、目標に対し水力発電が69.6%、風力発電が56.7%、太陽光発電が107.6%となった。

(単位:千円)

区分		令和4年度			前年度 実績(C)	対前年比 B/C
		目標(A)	実績(B)	B/A		
水力	第2四半期	213,418	148,552	69.6%	323,884	45.9%
	累計	441,819	322,275	72.9%	578,805	55.7%
風力	第2四半期	21,331	12,087	56.7%	17,720	68.2%
	累計	48,517	29,990	61.8%	47,569	63.0%
太陽光	第2四半期	92,559	99,562	107.6%	97,832	101.8%
	累計	192,154	223,525	116.3%	212,293	105.3%
合計	第2四半期	327,308	260,201	79.5%	439,436	59.2%
	累計	682,490	575,790	84.4%	838,667	68.7%

2 工業用水道事業

- ・日野川工業用水は、第2四半期は1社増、400m³/日の増で契約数86社、契約水量34,540m³/日(対前年比113.4%)となった。
- ・鳥取地区工業用水は、300m³/日の契約水量増により、契約水量は5,900m³/日(対前年比98.8%)となった。

区分		令和4年度			前年度			対前年比 A/B
		契約数 (社)	契約水量 (m ³ /日)	収入額(A) (千円)	契約数 (社)	契約水量 (m ³ /日)	収入額(B) (千円)	
日野	第2四半期	86	34,540	83,661	84	28,400	73,743	113.4%
	累計			161,323			141,862	113.7%
鳥取	第2四半期	13	5,900	29,149	13	5,900	29,494	98.8%
	累計			57,216			58,097	98.5%

3 埋立事業

(1) 新規売却及び長期貸付等

なし

(2) 一括即納売却、割賦販売、長期貸付の収入状況

(単位:千円)

区分	一括即納売却	割賦販売	長期貸付	合計
第2四半期	0 (0社)	22,093 (1社)	794 (1社)	22,887 (2社)
累計	0 (0社)	22,093 (1社)	77,511 (11社)	99,604 (12社)

※割賦販売の内訳は新規売却分1社。長期貸付の内訳は、毎月払1社、年払10社。(すべて既契約分)

令和4年度上半期の経営状況及び決算見込みについて

令和4年12月2日
企業局経営企画課

1 電気事業

(1) 令和4年度上半期の経営状況

営業収益は、小鹿第一・第二、日野川第一発電所のリニューアル工事や5月から8月にかけて降雨量が少なく日野川の渇水による取水量の減が影響したほか、新幡郷発電所の故障に伴う停止等により、販売電力量が前年同期比45.1%減の約3万2千MWhとなったことから、前年同期比2億38百万円減の6億33百万円となった。

また、営業費用は春米発電所リニューアルに伴う市町村交付金等の増により前年同期比2百万円増の7億13百万円となり、営業損益は80百万円の赤字となった。

営業外収益は消費税の還付加算金の増により前年同期比2百万円増の17百万円となり、営業外費用は企業債利息等の減により前年同期比3百万円減の16百万円となったことから、営業外損益は2百万円の黒字となった。

以上により、経常損益及び当期純損益は、79百万円の赤字となった。(黒字から赤字へ転換)。

○損益計算書(令和4年度上半期)

(単位:千円)

区分	R4年度(A)	R3年度(B)	差引(A-B)	主な増減要因
営業収益	632,834	870,841	△238,007	
水力電力料	292,977	526,186	△233,209	小鹿第一・第二、日野川第一発電所のリニューアル工事、降雨量が少なく、日野川の渇水による取水量減、新幡郷発電所の故障による停止等により減
風力電力料	27,264	43,245	△15,981	風車1号機の故障に伴う停止等による減
太陽光電力料	203,204	192,994	10,210	天候に恵まれたことによる増
繰延運営権対価収益	55,665	55,665	0	運営権対価(春米発電所)分割金の収益化
運営権者更新投資収益	53,724	52,751	973	運営権者更新投資(春米発電所)の収益化
営業費用	713,132	711,379	1,753	
水力発電費	527,346	508,220	19,126	市町村交付金(春米発電所分)の増及び修繕費の増
風力発電費	26,271	36,116	△9,845	
太陽光発電費	103,327	110,745	△7,418	
一般管理費その他	56,188	56,298	△110	
営業損益	△ 80,298	159,462	△239,760	
営業外収益	17,412	15,738	1,674	
受取利息	19	121	△102	
長期前受金戻入	14,244	14,477	△233	
雑収益	3,149	1,140	2,009	消費税の還付加算金の増
営業外費用	15,682	18,212	△2,530	
支払利息	15,677	17,372	△1,695	企業債利息の減
雑損失	5	840	△835	
営業外損益	1,730	△ 2,474	4,204	
経常損益	△ 78,568	156,988	△235,556	
特別利益	0	0	0	
特別損失	0	0	0	
当期純損益	△ 78,568	156,988	△ 235,556	

(2) 令和4年度決算見込み

営業収益は、小鹿第一・第二、日野川第一発電所のリニューアル工事や降雨量が少なく日野川の渇水による取水量の減による売電量の減少に伴い、販売電力量を前年度比33.6%減の約6万6千MWhと見込み、前年度比2億97百万円減の12億17百万円の見込みとした。

また、営業費用は、市町村交付金(春米発電所分)の増や風力発電所の修繕費の増等により前年度比3億96百万円増の18億39百万円の見込みとしたことから、営業損益は、6億22百万円の赤字の見込みとした。

営業外収益は、令和3年度に委託業務が終了した春米発電所運営維持業務委託の減により前年度比9百万円減の1億6百万円と見込み、営業外費用は、退職金(他部局負担分)の増により前年度比20百万円増の97百万円の見込みとしたことから、営業外損益は、9百万円の黒字の見込みとした。

以上により、経常損益及び当期純損益は、6億13百万円の赤字の見込みとした(黒字から赤字に転換)。

○令和4年度損益計算書(見込み)

(単位:千円)

区分	R4年度(A)	R3年度(B)	差引(A-B)	主な増減要因
営業収益	1,217,338	1,513,990	△296,652	
水力電力料	614,007	906,833	△292,826	小鹿第一・第二、日野川第一発電所のリニューアル工事、降雨量が少なく、日野川の渇水による取水量減等により減
風力電力料	59,891	75,872	△15,981	風車1号機の故障に伴う停止等
太陽光電力料	324,663	314,452	10,211	天候に恵まれたことによる増
運営権対価収益	111,330	111,330	0	運営権対価(春米発電所)分割金の収益化
運営権者更新投資収益	107,447	105,503	1,944	減価償却に応じた収益化(春米発電所)
営業費用	1,839,379	1,443,242	396,137	
水力発電費	1,397,455	1,036,401	361,054	市町村交付金の増(春米発電所分)
風力発電費	128,894	76,266	52,628	修繕費の増
太陽光発電費	184,701	202,834	△18,133	修繕費及び委託費の減
一般管理費その他	128,329	127,741	588	
営業損益	△ 622,041	70,748	△692,789	
営業外収益	105,961	115,374	△9,413	
受取利息	7,823	7,961	△138	
長期前受金戻入	28,488	29,023	△535	
他会計補助金	2,190	2,214	△24	
雑収益	67,460	76,176	△8,716	M&C鳥取水力発電(株)からの春米発電所運営維持業務委託の減
営業外費用	97,321	77,804	19,517	
支払利息	31,116	33,911	△2,795	企業債利息の減
雑損失	66,205	43,893	22,312	退職金(他部局負担分)の増
営業外損益	8,640	37,570	△28,930	
経常損益	△ 613,401	108,318	△721,719	
特別利益	0	0	0	
特別損失	0	1,601	△1,601	
当期純損益	△ 613,401	106,717	△720,118	

2 工業用水道事業

(1) 令和4年度上半期の経営状況

営業収益は、新規企業の給水開始に伴い契約水量が前年同期比6,140m³/日の増となったことから、前年同期比17百万円増の1億99百万円となった。

また、営業費用は、修繕費の減等により前年同期比4百万円減の2億3百万円となったものの、営業損益は4百万円の赤字となった。

営業外収益は、長期前受金戻入等の減から前年同期比1百万円減の51百万円となり、営業外費用は企業債利息の減により前年同期比4百万円減の28百万円となったことから、営業外損益は、23百万円の黒字となった。

以上により、経常損益及び当期純損益は、19百万円の黒字となった(赤字から黒字へ転換)。

○損益計算書(令和4年度上半期)

(単位:千円)

区分	R4年度(A)	R3年度(B)	差引(A-B)	主な増減要因
営業収益	198,672	181,797	16,875	
給水収益(日野川)	146,657	128,966	17,691	新規企業の給水開始に伴う基本料金の増
給水収益(鳥取)	52,015	52,831	△816	契約水量減に伴う基本料金の減
その他の営業収益	0	0	0	
営業費用	202,998	207,288	△4,290	
業務費	46,266	52,005	△5,739	修繕費の減
総係費	521	497	24	
減価償却費	156,211	154,786	1,425	
資産減耗費	0	0	0	
営業損益	△4,326	△25,491	21,165	
営業外収益	50,922	51,555	△633	
受取利息	1	1	0	
長期前受金戻入	42,102	42,368	△266	
雑収益	8,819	9,186	△367	
営業外費用	27,814	32,172	△4,358	
支払利息	27,814	32,172	△4,358	企業債利息の減(鳥取、日野川ともに減)
雑支出	0	0	0	
営業外損益	23,108	19,383	3,725	
経常損益	18,782	△6,108	24,890	
特別利益	0	0	0	
特別損失	0	0	0	
当期純損益	18,782	△6,108	24,890	

(2) 令和4年度決算見込み

営業収益は1社600m³/日の減量（令和4年4月、7月）があったものの、新規ユーザー2社3,540m³/日の給水開始（同年6月、7月）及び既存ユーザー1社300m³/日の増量により、前年度比30百万円増の4億2百万円の見込みとした。

また、営業費用は、日野川の漏水予防対策工事や燃料費高騰に伴う動力費の増等により前年度比91百万円増の6億42百万円を見込み、営業損益は2億40百万円の赤字の見込みとした。

営業外収益は、街路工事の移転補償金の減等があり、前年度比19百万円減の1億3百万円を見込み、営業外費用は企業債利息の減により前年度比8百万円減の54百万円を見込み、営業外損益は49百万円の黒字の見込みとした。

以上により、経常損益及び当期純損益は、1億92百万円の赤字の見込みとした（赤字幅は73百万円拡大）。

○令和4年度損益計算書(見込み)

(単位:千円)

区分	R4年度(A)	R3年度(B)	差引(A-B)	主な増減要因
営業収益	401,644	372,071	29,573	
給水収益(日野川)	297,087	269,121	27,966	新規企業の給水開始に伴う基本料金の増
給水収益(鳥取)	104,557	102,950	1,607	
その他の営業収益	0	0	0	
営業費用	641,940	550,864	91,076	
業務費	308,814	236,758	72,056	日野川の漏水予防対策工事の増、燃料費高騰に伴う動力費の増等
総係費	2,830	796	2,034	
減価償却費	314,393	309,868	4,525	資産取得(電磁流量計)に伴う減価償却の増
資産減耗費	15,903	3,442	12,461	除却資産(コンプレッサ等)の増
営業損益	△240,296	△178,793	△61,503	
営業外収益	102,916	122,267	△19,351	
受取利息	162	3	159	
長期前受金戻入	84,203	84,968	△765	
雑収益	18,551	37,296	△18,745	街路工事の移転補償金の減
営業外費用	54,379	62,042	△7,663	
支払利息	53,978	62,039	△8,061	企業債利息の減(鳥取、日野川ともに減)
雑支出	401	3	398	
営業外損益	48,537	60,225	△11,688	
経常損益	△191,759	△118,568	△73,191	
特別利益	0	0	0	
特別損失	0	0	0	
当期純損益	△191,759	△118,568	△73,191	

3 埋立事業

(1) 令和4年度上半期の経営状況

営業収益は、竹内工業団地において新規の土地の分譲1件(0.9ha)及び長期貸付1件(0.5ha)により、土地分譲に伴う土地売却収入の増、長期貸付料の増となったことから前年同期比23百万円増の1億89百万円となった。

また、営業費用は、土地の分譲に伴う土地売却原価の増により前年同期比18百万円増の1億9百万円となったものの、営業損益は、80百万円の黒字となった。

営業外収益は、短期土地貸付料の増により、営業外損益は、前年同期比1百万円増の2百万円の黒字となった。

以上により、経常損益及び当期純損益は、82百万円の黒字となった(黒字幅は6百万円拡大)。

○損益計算書(令和4年度上半期)

(単位:千円)

区分	R4年度(A)	R3年度(B)	差引(A-B)	主な増減要因
営業収益	189,454	166,267	23,187	
土地売却収益	110,465	89,030	21,435	竹内1件(0.9ha)(前年同期:竹内2件(0.7ha))
その他営業収益	78,989	77,237	1,752	新規の長期貸付(0.5ha)に伴う貸付料の増
営業費用	109,277	91,611	17,666	
土地売却原価	93,099	74,397	18,702	土地売却原価の増
一般管理費	9,414	10,753	△1,339	市町村交付金の減
企業誘致費	6,764	6,461	303	
営業損益	80,177	74,656	5,521	
営業外収益	1,599	1,215	384	
受取利息	661	661	0	
雑収益	938	554	384	短期土地貸付料の増
営業外費用	0	0	0	
営業損益	1,599	1,215	384	
経常損益	81,776	75,871	5,905	
特別利益	0	0	0	
特別損失	0	0	0	
当期純損益	81,776	75,871	5,905	

(2) 令和4年度決算見込み

営業収益は、竹内工業団地において新規の土地分譲1件（0.9ha）及び長期貸付1件（0.5ha）があったため、前年度比22百万円増の1億94百万円の見込みとした。
 また、営業費用は、土地売却原価の増等により前年度比21百万円増の1億30百万円を見込み、営業損益は、64百万円の黒字の見込みとした。
 営業外収益は、退職金（他部局負担分）の減により前年度比21百万円減の2百万円を見込み、営業外損益は、2百万円の黒字の見込みとした。
 以上により、経常損益及び当期純損益は、66百万円の黒字の見込みとした（黒字幅は1百万円拡大）。

○損益計算書(令和4年度見込み)

(単位:千円)

区分	R4年度(A)	R3年度(B)	差引(A-B)	主な増減要因
営業収益	193,743	171,536	22,207	
土地売却収益	113,165	92,710	20,455	竹内1件(0.9ha) (前年同期:竹内2件(0.7ha))
その他営業収益	80,578	78,826	1,752	新規の長期貸付(0.5ha)に伴う貸付料の増
営業費用	129,712	108,217	21,495	
土地売却原価	94,587	77,789	16,798	土地売却原価の増
一般管理費	15,782	14,857	925	
企業誘致費	19,343	15,571	3,772	
営業損益	64,031	63,319	712	
営業外収益	1,549	22,950	△21,401	
受取利息	771	794	△23	
雑収益	778	22,156	△21,378	退職金(他部局負担分)の減
営業外費用	0	20,987	△20,987	
長期借入金利息	0	0	0	
雑支出	0	20,987	△20,987	退職金(他部局負担分)の減
営業外損益	1,549	1,963	△414	
経常損益	65,580	65,282	298	
特別利益	0	0	0	
特別損失	0	0	0	
当期純損益	65,580	65,282	298	